

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
教育原理、教育課程概論 Principles of Education, Introduction to Curriculum		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(栄養教諭必修)	栄養の教職課程履修者のみ受講できる
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
教職関連科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
教職関連科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
松崎勇人	本館2階	月曜・水曜・金曜の講義のない時間		授業中に指示します
授業の概要				
教育の意味と目標、教育を成り立たせる要素と相互関係、教育の歴史と思想や教育課程について、分かりやすく説明する。				
授業の目標				
①教育の意味と目標、教育を成り立たせる要素と相互関係について述べるができるようにする。 ②教育の歴史と思想、現代公教育制度の課題について述べるができるようにする。 ③学習指導要領を基準として編成される教育課程の意義や編成の方法について述べるができるようにする。 ④カリキュラム・マネジメントを行う意味を述べるができる。				
授業の方法				
黒板を使つての説明を中心とした講義を行う。なるべく著作の現物や思想家の写真等を見せながら、イメージをわきやすくするようにする。また、4人から5人の小集団を作り、教育に関するテーマについて討論して発表することを行う。講義者が、それらの学生の見解を尊重しながら、幅広い観点からそれを補い、深める。				
学習の成果（学習成果）				
(1) 教育の意味や子どもの見方を説明することができる。 (2) 教育の歴史や教育することに関する対照的な、異なった考え方の長所と短所を述べるができる。 (3) 教育を左右する社会的要因、教育経営の基本的考え方、日本の教育の目的と教育制度の骨格を説明することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス、教育の意味、教育を成り立たせる要素と相互関係			
第2回目	教育の目的と目標の考え方、民主的な教育目標			
第3回目	日本教育史、古代から中世			
第4回目	日本教育史、近世から近代。現代の教育課題			
第5回目	西洋教育史、ギリシャからローマ			
第6回目	西洋教育史、近代			

第7回目	教育思想の基本（家庭や子ども観）	
第8回目	教育思想の基本（学校や学習観）	
第9回目	教育課程の意味、学習指導要領の性格と位置づけ、そこに示される教育課程編成の目的	
第10回目	学習指導要領の変遷（戦後から高度経済成長期）	
第11回目	学習指導要領の変遷（ゆとり教育とその後）	
第12回目	教育課程編成の基本原則	
第13回目	長期的視野からの、また実態を踏まえた教育課程の検討	
第14回目	教科横断的内容編成方法の例示、学習指導要領におけるカリキュラム・マネジメントの意味	
第15回目	カリキュラム評価の考え方	
事前・事後学習	講義のポイントを復習すること、宿題をすること。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	最高水準としては、講義者の話を集中して聞き、質問に的確に答えられること、与えられたテーマについて仲間の意見を聞き、自分の考えを述べられるなどである。
レポート		
調査報告書		
小テスト		
試験	80%	到達目標に示した内容に関する基本的事項を理解できたかどうかをペーパーテストにより尋ねる。ノートの持ち込みは出来ない。評価基準の詳細は講義中に説明する。
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
教科書：特になし。参考書は講義内で指示する。		
履修上の留意点・ルール		
休まないこと。真剣な態度で講義に臨むこと。私語をしない。積極的に質問すること。免許取得科目のため教育に対する強い興味や関心がある者のみ受講を許可したい。		